

子育て支援グループ活動報告

一、はじめに

本報告では、甲南大学人間科学研究所と甲南大学心理臨床カウんセリングルームの共催で実施された子育て支援グループにおける活動について報告をする。本年（二〇二二年一月～二月）、子育て支援グループ活動として、「親子相談」「うりぼうくらぶ」を実施した。それらの詳細は次のとおりである。

二、親子相談

「親子相談」は、就学前の子どもをもつ保護者を対象とした個別相談である。子どもの心身の発達や子どもへの関わり方等、子育てにおける不安を抱える保護者に対して、親子が気軽に相談できる場所として、毎月第一・三水曜日の午前中に設定している。目的は、問題が深刻化する前に、親子を支援することである。本年は、のべ七名の保護者が利用した。

三、うりぼうくらぶ

「うりぼうくらぶ」は、毎月第二・四水曜日の午前中に開催している。対象は、就学前の子どもと保護者である。うりぼうくらぶは、育児相談の場や子ども遊び場、保護者の交流の場等として活動している。スタッフは、主に本大学心理臨床カウんセリングルーム相談員一名（筆者）と幼稚園教諭・保育士有資格者や子育て経験者四名、計五名が携わった。活動は、絵本の読み聞かせや手遊び、親子ふれあい遊びなど、親子と一緒に楽しく過ごせるような内容の設定遊びである。また、季節を感じられるような製作や家庭でも実践できる体操等も行う。また、自由遊びの時間には、子どもの自主性を尊重しつつ、スタッフが受容的に関わる。活動のなかで、保護者からの育児相談に応じることもある。

本年は、年間一七回開催し、新規一二組、のべ五四組一五名の親子が利用した。一月に開催した後、新型コロナウイルスの影響を鑑み、三月まで活動を中止し、四月から活動を再開した。八月には、夏まつりを開催した。スパーボールすくいや魚つり、お面づくりなど、親子が一緒に楽しむことができるコーナーを設定した。参加した保護者からは、「コロナ禍でお祭りへの参加が難しいなか、子どもに合ったコーナーを用意してい



写真2. クリスマス会の様子



写真1. 夏まつりの様子

ただき、親子ともに楽しかった」「素敵な夏の思い出になった」「子どもを連れてきてよかった」「また参加したい」等の感想が寄せられた。参加した親子にとって、安心して過ごせる場にもなったようであった。また、一二月にはクリスマス会を開催し、人形劇やクリスマス制作などを行った。保護者からは「子どもが、制作したタンバリンを持って、音楽に合わせて踊っていて楽しそうだった」「自由遊びのとき、初めて娘がボールプールに入ることができ、嬉しかった」などの感想が寄せられた。これらのイベントは、保護者にとつて、子どもと一緒に楽しい時間を過ごしたり、子どもの成長を垣間見られたりする時間になったようであった。これらのイベントへの参加を機

に、継続的にうりぼうくらぶを利用する親子もいた。

四、おわりに

二〇二三年三月末に甲南大学心理臨床カウンセリングルーム閉室に伴い、子育て支援グループ活動も終了する。現在、甲南大学人間科学研究所の子育て支援に参加した親子のなかには、子育て支援グループ活動「親子相談」や「うりぼうくらぶ」を利用した方もいた。逆に、子育て支援グループ活動の利用者が人間科学研究所の子育て支援に参加することもある。つまり、個々の親子が、それぞれのニーズに合わせて、大学内における子育て支援活動を様々に利用している。そのため、複数の子育て支援活動を利用している親子に対して、継続的に支援することができたといえる。

筆者自身も、子育て支援グループ活動における実践を通して、筆者自身、多くの学びを得ることができた。甲南大学心理臨床カウンセリングルーム閉室後も、これらの経験を活かし、子育て支援に携わっていききたいと考える。

(岩本 沙耶佳)